【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【公開番号】特開2007-200120(P2007-200120A)
【公開日】平成19年8月9日(2007.8.9)
【年通号数】公開・登録公報2007-030
【出願番号】特願2006-19277(P2006-19277)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/048　(2006.01)
Ｇ０６Ｑ　50/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/048　６５６Ａ
Ｇ０６Ｆ　17/60　１２４

【手続補正書】
【提出日】平成20年7月31日(2008.7.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項４】
前記判定手段は、各ユーザの位置を示した地図情報の出力要求をおこなった第１のユーザと、第１のユーザと所定の関係を有する第２のユーザとがいる場合に、第１のユーザおよび第２のユーザの両方のユーザとの間で所定の関係を有する単数または複数の第３のユーザがいるか否かを判定し、前記出力手段は、前記判定手段により単数または複数の第３のユーザがいると判定された場合に、前記記憶手段に記憶された位置情報に基づいて、第１のユーザ、第２のユーザおよび単数または複数の第３のユーザの位置を示した地図情報を第１のユーザの端末装置に出力することを特徴とする請求項１、２または３に記載の地図情報出力装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項８】
前記判定工程は、各ユーザの位置を示した地図情報の出力要求をおこなった第１のユーザと、第１のユーザと所定の関係を有する第２のユーザとがいる場合に、第１のユーザおよび第２のユーザの両方のユーザとの間で所定の関係を有する単数または複数の第３のユーザがいるか否かを判定し、前記出力工程は、前記判定工程により単数または複数の第３のユーザがいると判定された場合に、前記位置情報に基づいて、第１のユーザ、第２のユーザおよび単数または複数の第３のユーザの位置を示した地図情報を第１のユーザの端末装置に出力することを特徴とする請求項５、６または７に記載の地図情報出力方法。
【手続補正３】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１２】

前記判定手段は、各ユーザの位置を示した地図情報の出力要求をおこなった第１のユーザと、第１のユーザと所定の関係を有する第２のユーザとがいる場合に、第１のユーザおよび第２のユーザの両方のユーザとの間で所定の関係を有する単数または複数の第３のユーザがいるか否かを判定し、前記出力手段は、前記判定手段により単数または複数の第３のユーザがいると判定された場合に、前記記憶手段に記憶された位置情報に基づいて、第１のユーザ、第２のユーザおよび単数または複数の第３のユーザの位置を示した地図情報を第１のユーザの端末装置に出力することを特徴とする請求項９、１０または１１に記載の地図情報出力プログラム。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
また、本発明は、上記発明において、前記判定手段は、各ユーザの位置を示した地図情報の出力要求をおこなった第１のユーザと、第１のユーザと所定の関係を有する第２のユーザとがいる場合に、第１のユーザおよび第２のユーザの両方のユーザとの間で所定の関係を有する単数または複数の第３のユーザがいるか否かを判定し、前記出力手段は、前記判定手段により単数または複数の第３のユーザがいると判定された場合に、前記記憶手段に記憶された位置情報に基づいて、第１のユーザ、第２のユーザおよび単数または複数の第３のユーザの位置を示した地図情報を第１のユーザの端末装置に出力することを特徴とする。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
また、本発明は、上記発明において、前記判定工程は、各ユーザの位置を示した地図情報の出力要求をおこなった第１のユーザと、第１のユーザと所定の関係を有する第２のユーザとがいる場合に、第１のユーザおよび第２のユーザの両方のユーザとの間で所定の関係を有する単数または複数の第３のユーザがいるか否かを判定し、前記出力工程は、前記判定工程により単数または複数の第３のユーザがいると判定された場合に、前記位置情報に基づいて、第１のユーザ、第２のユーザおよび単数または複数の第３のユーザの位置を示した地図情報を第１のユーザの端末装置に出力することを特徴とする。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
また、本発明は、上記発明において、前記判定手段は、各ユーザの位置を示した地図情報の出力要求をおこなった第１のユーザと、第１のユーザと所定の関係を有する第２のユーザとがいる場合に、第１のユーザおよび第２のユーザの両方のユーザとの間で所定の関係を有する単数または複数の第３のユーザがいるか否かを判定し、前記出力手段は、前記判定手段により単数または複数の第３のユーザがいると判定された場合に、前記記憶手段に記憶された位置情報に基づいて、第１のユーザ、第２のユーザおよび単数または複数の第３のユーザの位置を示した地図情報を第１のユーザの端末装置に出力することを特徴とする。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
また、本発明によれば、各ユーザの位置を示した地図情報の出力要求をおこなった第１のユーザと、第１のユーザと所定の関係を有する第２のユーザとがいる場合に、第１のユーザおよび第２のユーザの両方のユーザとの間で所定の関係を有する単数または複数の第３のユーザがいるか否かを判定し、単数または複数の第３のユーザがいると判定した場合に、記憶した位置情報に基づいて、第１のユーザ、第２のユーザおよび単数または複数の第３のユーザの位置を示した地図情報を第１のユーザの端末装置に出力することとしたので、所定の関係を有するユーザのそれぞれに所定の関係を有する共通のユーザがいる場合にのみ位置情報を出力することにより、地図上の位置の公開・非公開を効果的に設定し、ユーザのプライバシーを考慮した情報提供をおこなうことができるという効果を奏する。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１１】
また、本実施例では、位置表示ユーザ判定サーバ８０が、各ユーザの位置を示した地図情報の出力要求をおこなった第１のユーザと、第１のユーザと友人関係を有する第２のユーザとがいる場合に、第１のユーザおよび第２のユーザの両方のユーザとの間で友人関係を有する単数または複数の第３のユーザがいるか否かを判定し、フロントエンドサーバ４０が、位置表示ユーザ判定サーバ８０により単数または複数の第３のユーザがいると判定された場合に、ユーザ管理サーバ５０により記憶された位置情報に基づいて、第１のユーザ、第２のユーザおよび単数または複数の第３のユーザの位置を示した地図１０２を第１のユーザのクライアント装置１０ａ～１０ｃに出力することとしたので、互いに友人であるユーザ間に共通の友人であるユーザがいる場合にのみ位置情報を出力することにより、地図１０２上の位置の公開・非公開を効果的に設定し、ユーザのプライバシーを考慮した情報提供をおこなうことができる。